

授 業 科 目 名	欧米地域学				
担 当 教 員	奈蔵正之				
学 期	前期	曜日・時限	金曜 3・4時限	単 位	2 単位
地域志向科目	該当 する ・ しない				
<p>【授業としての具体的到達目標】</p> <p>20世紀～21世紀におけるフランスの現代史・外交史・政治史について確実な理解を得るとともに、各時代における世界情勢やEUの状況などについても考察を行うこと。</p>					
<p>【授業の概要】</p> <p>第二次世界大戦から2018年までに至る、フランスの現代史・外交史・政治史を多角的に学びます。同時に、各時代における世界情勢やヨーロッパ諸国の状況にも注意を払い、EUの成立・発展・抱え込んだ問題点などについても学びます</p>					
<p>【授業内容予定】</p> <p>1) 受講生の持つ予備知識や、関心の所在などによって授業の組み立てや方向性を変化させますので、現時点で確定した予定はありません。</p> <p>2) フランスを中心とした通時的な流れでは、概ね次のようになります。そしてそれぞれの時代ごとに、あわせて世界情勢とフランスの外交を考察します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第二次世界大戦とフランス 2. 戦後のフランスと第四共和政 3. アルジェリア危機とフランス第五共和制の誕生 4. ド・ゴール時代のフランス 5. ポンピドゥー、ジスカール・デスタン時代のフランス 6. ミッテラン時代のフランス 7. シラク時代のフランス 8. サルコジ、オランド時代のフランス 9. マクロン政権の誕生と、フランスおよびEUの現在 					
<p>【教材・テキスト】</p> <p>現時点では特に決まっていません。受講生と相談して適宜テキストを選ぶこともあります。その場合も、日本語の文献になります。</p>					
<p>【参考文献】</p> <p>授業中に適宜支持されます</p>					
<p>【成績評価の方法および採点基準】</p> <p>毎回の授業における発表，および中間レポート，最終レポートによる総合的評価となります。</p>					
<p>【授業形式・形態および授業方法】</p> <p>受講生が多くないので、ゼミ形式に近くなります。毎回簡単な課題を提示し、それについて調べてきたことを次の授業で受講生が発表し、それを足がかりにディスカッションを行い、必要となる知識や情報を教員が補います。</p>					
<p>【留意点・予備知識等】</p> <p>1) 受講生の持つ予備知識に応じて、授業内容の難易度，専門性を変化させます。かなり専門性の高い事柄について研究するような授業になることもあれば，基礎的な知識の習得をめざす平易な授業になるかもしれません。</p> <p>2) 受講生全員がフランス語既修者の場合，フランス語の文献や新聞記事の抜粋が使用されることがあります。</p>					
<p>【オフィスアワー】</p> <p>火曜 7・8時限</p> <p>それ以外の時間でも随時受け付けますので、まずメールによってアポイントメントを取って下さい。 nagura@hirosaki-u.ac.jp</p>					